

百首歌集 9301-9400 ふる里の星ふる夜

- | | | |
|------|---------------------------------------|-----------------|
| 9301 | ふる里の星ふる夜を思うとき全てが昔話となりて(寂) | [10月20日 00時30分] |
| 9302 | 近未来何をか信じ人ごとに小さき星の中で争う (白馬) | [10月21日 23時12分] |
| 9303 | ひと日また生き凌ぎては赤き花愛でつ未来へ一歩踏み出す (真奈) | [10月22日 14時51分] |
| 9304 | 読み返すドンキホーテの夜の長し思い一筋我が生き様 (やんま) | [10月22日 18時56分] |
| 9305 | 多事多難ありしと思ふ生涯の変らぬものに頑固一筋 (ひであき) | [10月23日 15時20分] |
| 9306 | ボランティア仲間になべて年ふりぬかつて植えたる苗木亭亭 (シナモン) | [10月23日 23時44分] |
| 9307 | ネスカフェ 60余年も飲みつづけ ドリップコーヒーになじめぬ八十路 (水) | [10月24日 14時53分] |
| 9308 | 満月に来し方思ひ茶をすする片隅に生き茶の花を愛で(寂) | [10月25日 23時32分] |
| 9309 | 思い出の中に哀しみ宿りたる君が涙と君が頬笑み (やんま) | [10月25日 23時56分] |
| 9310 | 巡礼の艱難越えて戻りたる君が眸の光まばゆき (ひであき) | [10月26日 17時17分] |
| 9311 | 巡礼の掲げたる腰の貝の殻忘れ難きよかの山川を (シナモン) | [10月28日 10時34分] |
| 9312 | 白神の山河に野営その星の恐ろしき程光り瞬く (やんま) | [10月28日 23時40分] |

- 9313 かの人の面影偲び見上ぐ空富士は真白に化粧し終わり（白馬） [11月4日 22時10分]
- 9314 下駄はいて角帽かぶり通ひたる御殿場線は亡き夫の道（シナモン） [11月5日 16時20分]
- 9315 青春の白雲なびく駿河台小さく暮らし大き夢抱く（やんま） [11月7日 20時39分]
- 9316 岳を攀じ沢を遡りし青春のアルバム開くアームチェアーに（ひであき） [11月8日 13時58分]
- 9317 ツッパリに疲れし男密やかに「赤毛のアン」を読みし青春(ぼくる) [11月13日 13時34分]
- 9318 「人間の条件」すすめ呉れし人ありてむさぼり読し青春(寂) [11月14日 01時41分]
- 9319 広辞苑初版を買えたうれしさに逐一読了1955（水） [11月14日 08時54分]
- 9320 秋燈立って半畳寝て一畳夢に入るまで読書三昧（やんま） [11月15日 20時18分]
- 9321 歳時記をめくれば褪せし蔵書印セピア色なる独身時代（ひであき） [11月17日 13時10分]
- 9322 言の葉の枯れゆく老いを介助する電子辞書あり無言の教師（水）（自作、倉ノ前 松、朝日歌壇、2018-11-18） [11月20日 10時20分]
- 9323 老いたれば後幾度の旅可能無言でめくる旅行案内（やんま） [11月20日 10時34分]
- 9324 諦めし旅なればこそ思い遣る霧のミラノやシチリアの鐘（シナモン） [11月22日 15時09分]
- 9325 かつて住みし北欧の地へ想いはす浜辺の人魚へ寒中見舞（水） [11月23日 14時03分]

- 9326 催しの列ゆつくりと小春風短く高く開会宣言（ひであき） [11月23日 18時01分]
- 9327 日々に得る命新し有難たしお釣りの人生ゆつくり歩む（やんま） [11月27日 08時09分]
- 9328 朝起きて動かしてみる吾が手足今日のひと日は大丈夫だよ（シナモン） [11月27日 09時07分]
- 9329 娘の曰く丁度良いよりいま一步厳しく日々を老い行きませと(寂) [11月28日 01時44分]
- 9330 カラ元気出して歩めど現実には心臓ぱくぱく足はがくがく（やんま） [11月28日 22時15分]
- 9331 年の瀬に想ふことあり星流る後期高齢誰が名付けた（白馬） [12月18日 17時01分]
- 9332 高齢に前もうしろも有りませんその内にくる末期高齢(シナモン) [12月21日 14時05分]
- 9333 日没に日出の続くことわりを思ふ呼吸の有り難きかな（丹仙） [12月23日 10時06分]
- 9334 築地から豊洲へ橋をひとまたぎ高層群に仲買人の群れ（ひであき） [12月23日 19時09分]
- 9335 飽食の時代到来ふと思うあの闇市の空腹の空（やんま） [12月26日 00時32分]
- 9336 水平線かき分けて冬夕焼け落つ闇より湧ける星々の数（ひであき） [12月26日 15時34分]
- 9337 朝焼けの街に大きく窓開けてキーンと張りた空気取り込む(寂) [12月26日 23時52分]
- 9338 利根筑波蹄響かせ将門の駒ゆく空に冬の虹張る（やんま） [12月28日 08時45分]

- | | | |
|------|-------------------------------------|----------------|
| 9339 | あらたまのかなしみなににたとへむか冬をてらさむ三日月のとがり (れん) | [1月6日 22時58分] |
| 9340 | かなしみの聖母の指よ殉教の国へ伝道密行の供 (丹仙) | [3月15日 18時44分] |
| 9341 | 献体より帰りしひとに白百合と聖書をそはすひとつ部屋のなか (れん) | [3月16日 00時37分] |
| 9342 | 大切な人世にありし記念なり灯火ともす小さき御部屋 (晶) | [3月21日 10時16分] |
| 9343 | 断捨離を流行り病の如くいふ捨てては拾ふ思い出の数 (シナモン) | [3月21日 23時41分] |
| 9344 | 思い出のごとくに拾ふ桜貝忘れみしこと数多こぼして (ひであき) | [3月22日 16時11分] |
| 9345 | この星の座り心地や土筆ん坊妹と摘みしは思い出の丘 (やんま) | [3月27日 09時18分] |
| 9346 | 移り来し家の前庭つくしんぼ見つけて思ふ姉なる人を (れん) | [3月30日 20時58分] |
| 9347 | 姉逝きて四半世紀の刻ながれ披く遺句集花びらの散る(シナモン) | [3月31日 23時13分] |
| 9348 | 平成に馴染むことなき昭和っ子さて令和には居場所無し (やんま) | [4月2日 07時19分] |
| 9349 | 記紀歌謡万葉集を卒論のテーマに選びし彼の日懐かし (莉由) | [4月13日 23時48分] |
| 9350 | 桜なる蕾のさきに光るあり雨後の雫のちひさきをみつけ (れん) | [4月21日 14時32分] |
| 9351 | ればたらあ別な生き方考える夢の蕾のあれやこれやと (やんま) | [4月27日 09時42分] |

- | | | |
|------|-------------------------------------|----------------|
| 9352 | 夢の中また夢を見て新しき法説く君のまことうるはし (丹仙) | [5月1日 08時41分] |
| 9353 | 世の移り人の遷りも身に受けつ民の竈を見やる青帝 (莉由) | [5月3日 12時40分] |
| 9354 | よんどころ無く飲む羽目になりたるも人情と義理の人の世なれば (やんま) | [5月29日 20時36分] |
| 9355 | いつしかに晩酌の味忘れをり老人ホームはそんな場所です (シナモン) | [6月9日 17時14分] |
| 9356 | 毫碌のうちにも創造ありといふ白頭翁の言の葉を囁む (丹仙) | [6月11日 08時42分] |
| 9357 | これを捨てあれも削りの日々なれど五七のリズムまだ生きている(莉由) | [6月14日 15時53分] |
| 9358 | 忍ぶれど生きて寂しき紫陽花の色に出でけり七色の恋 (やんま) | [6月20日 07時42分] |
| 9359 | 朝顔の色を活けたる床柱利休のころ我にありなむ (ひであき) | [6月30日 17時03分] |
| 9360 | 一切を捨切る心十字架の道選びたる形見の茶筌 (丹仙) | [7月10日 21時53分] |
| 9361 | しがみつく空蟬にある目の円ら夢の形見の皆上向ける (やんま) | [8月4日 10時08分] |
| 9362 | 雷雨来て切れたネットの復元に苛立ちつつもこれが老いかと (莉由) | [9月12日 00時59分] |
| 9363 | 七十路を忘れし在家修道士活かされ生きる妙好の顔 (丹仙) | [9月23日 07時31分] |
| 9364 | 旅立ちの日は遠からずやって来る今は蒔こうよパンジーの種 (しなもん) | [9月24日 06時25分] |

- 9365 秋来ぬと目にはさやかに見えねども＜便座のひやりに＞おどろかされぬる（水；リフォーム短歌） [9月29日 14時01分]
- 9366 とぼとぼと来て秋風に包まるる真昼の月の白の眩しさ（やんま） [9月29日 23時23分]
- 9367 哲学者風の言葉で相撲語る貴景勝の気骨さわやか（水）、倉ノ前 松、朝日歌壇10月6日、自作 [10月23日 16時04分]
- 9368 思索には莫塵一枚も有れば足ると語りし人の笑顔忘れず（莉由） [11月18日 20時05分]
- 9369 我が居場所起きて半畳寝て一畳晴耕雨読般若湯など（やんま） [11月18日 23時22分]
- 9370 ぬくしぬくとポケットの中手の居場所明日に向つてただ歩くのみ（ひであき） [11月29日 16時39分]
- 9371 居場所なき吾はクリスマスメール書くイブの幸い.久の.祈りする（れん） [12月24日 22時40分]
- 9372 あれもこれも途中のままに年の暮れ売れ残りなるケーキ買ひ来し（やんま） [12月25日 08時33分]
- 9373 セブンからテンのパソコンへ転居中60年来の秘密を断捨離（水） [12月25日 15時44分]
- 9374 柗木の白き木犀クリスマスに咲きをへむかもがん秘密なし（れん） [12月25日 22時01分]
- 9375 人の皆襟立て歩く歳晩の街角飾る冬の花々（やんま） [12月29日 09時29分]
- 9376 今の世はヨセフ子守す吾もまた家族のために蕎麦用意せむ（丹仙） [12月31日 23時50分]
- 9377 パソコンのテンに独居のごとく吾ゴーンのごとく自由に憧れ（ひであき） [1月3日 15時32分]

- 9378 文枝さん名前見つけり癌やみて神のみもとで自由にあるらむ (れん) [1月4日 18時35分]
- 9379 年重ね蘇りしは魂の触れ合いありし友垣のこと (莉由) [1月4日 23時19分]
- 9380 ふれあいの友おとずれり車椅子ファッションのこと懐かしみきく (れん) [1月8日 07時12分]
- 9381 その昔野獣の眼していたるラガーの友の車椅子押す (やんま) [1月13日 19時44分]
- 9382 手助けは「同情」でなく「非人情」でと諭されしこと今思い出す {莉由) [1月17日 15時56分]
- 9383 「プライドが邪魔して」なんてジョークめく笑ひ飛ばせば済む筈のこと {シナモン) [1月20日 16時22分]
- 9384 プライドは無し納税の義務も無しけふうらうらと日向ぼこする (やんま) [1月22日 15時41分]
- 9385 パソコンのWEBカメラに紙をはる天声人語の警告通りに (水) [1月22日 16時25分]
- 9386 WE B画面マスクに隠る汝 (なれ) の顔我 (わ) が顔も消しひたと見つむる (丹仙) [4月24日 14時11分]
- 9387 春マスク憂ひの顔を隠しゆくコロナの街に孤独なる群 (やんま) [4月25日 23時20分]
- 9388 斜交ひに話すマスクの君が笑み真正面の声を聞きたし (ひであき) [5月3日 17時12分]
- 9389 コロナ禍の感染者数死亡数人口比記すエクセルの表(白馬) [5月27日 22時00分]
- 9390 不器用に生きてこの世を渡り来し緊急事態を今日も徘徊 (やんま) [5月28日 09時00分]

- | | | |
|------|--------------------------------------|-----------------|
| 9391 | 床屋での密接おそれてセルフカット 茫茫髪にハサミを入れる (水) | [5月30日 14時31分] |
| 9392 | 蜜蜜のなかゆくがんの検診は迫らぬままに居眠りいくど (れん) | [6月8日 22時26分] |
| 9393 | 不器用に生きて貧乏恙無し眠り居る間にドラマ終焉 (やんま) | [6月16日 11時28分] |
| 9394 | 消されたるライトの音に目覚めたるドラマのつづき最後まで読む (ひであき) | [6月20日 16時26分] |
| 9395 | テレビ消し新聞閉じて瞑想す吾が来し方の3分ドラマ (水) | [6月20日 19時57分] |
| 9396 | 今生の友良し酒佳し歌も佳しわが来し方のドラマ回想 (やんま) | [6月24日 22時26分] |
| 9397 | 妻と観るバンカー達の恩返し焦らす七日を今は楽しむ (北蒼) | [9月21日 00時03分] |
| 9398 | 倍返してふ流行語吾知らず恨みつらみは捨てて心経 (白馬) | [10月14日 20時39分] |
| 9398 | 倍返してふ流行語恨みつらみは捨てて心経 (白馬) | [10月4日 16時48分] |
| 9399 | ガンマーカー推移うらむことはなく野の百合のよう.淡々として (れん) | [10月19日 23時25分] |
| 9399 | 今生の縁を戴き赤とんぼ今日様の風を恨まず (やんま) | [10月10日 20時42分] |
| 9400 | 生も死もただ受け入れる他は無く趣味仰雲の今を愛しむ (やんま) | [10月20日 15時27分] |